

2018 年 10 月 11 日発行

二火会たより・36 号

日本山岳会 二火会 〒102-0081 千代田区四番町 5-4 TEL03-3261-4433

今年の夏は歴史上初めての暑さを体験しました。又豪雨、台風、地震と災害の多い夏でもありましたが、如何お過ごしですか？皆様のお知り合いの人達も被害に遭われている人もおられることでしょう。一日も早く立ち直っていただき、安心して生活が出来ますように、祈っております。

又悲しいお知らせになりますが、大森喜夫さんが今年の 3 月に、7 月に内田敏子さんが天国に旅立たれました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。寂しくなりましたね。

人生 100 年の時代になりました、幾つ^{いくつ}迄歩けるかわかりませんが、今歩けるうちに山に一日も長く歩き、残る人生を楽しみたいものです。

山行計画を表にしてみましたので、カレンダーや、壁に張って忘れのないように参加して下さい。尚、高尾山のトレーニング山行は毎月第 4 火曜日に高尾山口にて 10 時集合です。

代表 佐藤登代子

山行計画

月日	行 先	集合場所・時間	担当者	締め切り
10 月 16 日～	宮城蔵王	J R 目白駅 10 時	佐藤	10/13
11 月 13 日	御岳山	J R 古里駅 10 時	石田要久	11/11
12 月 11 日	日和田山	高麗駅改札口 10 時	児嶋和夫	12/7
H31 1 月 9 日	七福神めぐり	J R 八王子駅改札口 10 時	松島岳生	1/8
2 月 13 日	鎌倉・衣張山	J R 鎌倉駅 10 時	植村澄江 佐野加代子	2/4
3 月 12 日	弘法山	小田急秦野駅 10 時	深田美好	3/3
4 月 9 日	龍崖山		児嶋和夫	詳細は後日
毎月第 4 火曜日	高尾山周辺	高尾山口。10 時		

詳細は別途ご覧ください

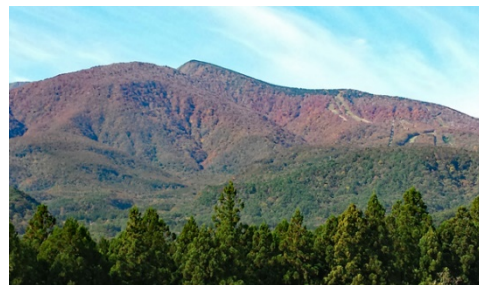
山 行 計 画

10 月の山行 宮城蔵王山（1840m）

10 月は紅葉の真っ盛りの蔵王を歩くことにいたしました

この季節は雪の前の紅葉が素晴らしいと思います。温かい服装で参加ください。

休山会の菅田さんが蔵王の別荘を提供してくれました、又参加者が少ないので、東京から車で行くことになりましたので、安く、楽に行けそうです。



◆期 日：平成30年10月16日～18日（火～木）（二泊三日）

◆行 先：宮城蔵王

◆宿泊先：ロイヤルヴァンベール宮城蔵王 803（菅田別宅）
大和ロイヤル横 （部屋から見る景色は絶景です）

10月16日（火）JR目白駅改札口10：00集合 車で行きます

10月17日（水）刈田岳（車にて移動）一杉の峰—屏風岩（往復） 自炊

10月18日（木）大黒天—股窪—倉石ヒュッテ—ゴンドラ乗り場—〔車〕帰 路

* 予定は変更することがあります。

* 宿泊費：2泊3日..... 2000円＋食料品費＋車代（¥7000～10,000）

* 朝食、夕食は自炊、炊事用品、寝具、温泉大浴場付き、

*あと一人女性の人募集しています。

連絡先は佐藤登代子

11 月の山行 大塚山から御岳山（829m）

今回は晩秋の一日を丹三郎尾根から大塚山経て御岳山へ紅葉を求めて歩きたいと思います。

◆日 時：平成30年11月13日（火）

◆集 合：JR 青梅線 古里駅改札口 午前9時15分

◆コース：古里～丹三郎集落～大塚山～御岳神社～（ケーブルカー）～滝本～御岳駅

◆参 考：JR 新宿駅発（7：31） JR 立川（8：11） 古里着（9：13）

JR 八王子発（8：00）JR 古里（9：13）

◆持ち物：雨具、昼食

- ◆担 当：石田要久
- ◆申込み：11月11日（日）までにご連絡願います。

12月の山行 日和田山（305m）

日和田山は、曼殊沙華の群生で知られる巾着田を見下ろす、奥武蔵の入り口に位置する山です。男坂の登山道には短いですが岩登りも楽しめます。

- ◆日 時：2018年12月11日（火）
- ◆集 合：西武秩父線高麗駅・改札口 10：00
- ◆コース：高麗一日和田山一物見山一日和田山一高麗
- ◆歩 程：約4時間
- ◆持ち物：通常の日帰り山行装備 昼食
- ◆担 当：児嶋和夫
- ◆申 込：12月7日までに児嶋まで

1月の山行 八王子・七福神めぐり

2019年最初の例会山行は恒例の各地の七福神めぐりです。これまで、五日市、鎌倉、川越を歩きました。今年は初詣をかねて八王子市内の七福神めぐりです。八王子の街とお寺をのんびり歩きましょう。

- ◆日 時：2019年1月9日（水） 雨天中止
- ◆集 合：JR八王子駅改札口 10時
- ◆歩 程：3時間（八王子で新年会をかねて昼食後、解散予定）
- ◆持ち物：傘、防寒具
- ◆担 当：松島 岳生
- ◆申し込：1月8日までに松島までご連絡下さい。

2 月の山行 杉本観音～衣張山

- ◆日 時：2019年2月13日（第二水曜日）・雨天中止
- ◆集 合：JR鎌倉駅改札口 10時
- ◆担 当：植村・080-5510-6438 佐野・045-542-3841
- ◆申 込：2月4日までに（山行計画書提出のため）ご連絡をお願いします。

3 月の山行 弘法山から鶴巻温泉

小田急線、秦野駅から浅間山～権現山～弘法山公園～弘法山～鶴巻温泉駅へと続く丘陵コースです。春は桜、初夏はアジサイが楽しめますが、開花には少し早い時期ですが、体力に自信の無い方ものんびり歩けるとおもいます。
下山後、ご希望の方は鶴巻温泉に日帰り入浴施設も有ります。

- ◆日 時：2019年03月12日（第2火曜日） 雨天中止
- ◆集 合：小田急線 秦野駅改札口・10時 （解散）鶴巻温泉駅
- ◆持ち物：昼食など通常の日帰り用品
- ◆担 当：深田 美好
- ◆申 込：3月3日までに（山行計画書提出のため）ご連絡をお願いします。

山 行 報 告

6 月の山行 入笠山（1955m）

期 日：2018年6月13日（水）晴れ

参加者：植村澄江、佐藤登代子、石光久仁子、染谷美佐子、松島岳生（係り）

田中澄江の「花の百名山」にも取り上げられている入笠山は百花繚乱の花のお山でした。
かつて二火会の月例山行で入笠山を訪れたことがあった。

スキーシーズンとこの夏の時期に富士見駅と入笠山ゴンドラ駅の間に無料のバスが運行されていて便利である。富士見駅に止まるあずさが少ないのでどうしても千葉発のあずさに新宿から乗ることになるが、これがいつも混んでいる。

さて、富士見駅10時発のバスに乗り込んでゴンドラ山麓駅へ。この日は平日にもかかわらず、バスの増便が出るほどの賑わい。ここ山麓駅から一気にゴンドラで1780mの

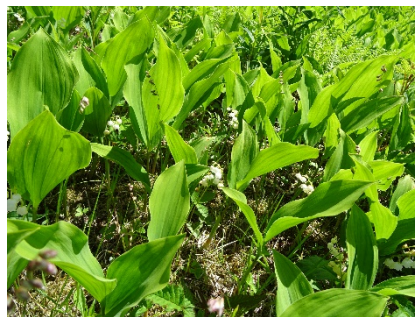
山頂駅へと運ばれる。

入笠湿原はあたかも高山植物園で入り込んだようで足元には黄色のウマノアシガタの群落がり、白い絨毯はすすらんの群落で、ヨーロッパ原産のドイツすすらんとのこと。ザゼンソウを保護育成する珍しい姿もあった。

のんびりと山頂に向かい白いズミの満開の根方で一本立てる。山頂には12:10着。山頂はハイカーで混みあっていて、場所探しをしてようやく正面に八ヶ岳連峰、北アルプスの乗鞍から御嶽山の稜線、中央アルプスの豪華な山並みを見ながらのお昼となる。これでなんだか満足して大阿原湿原へ立ち寄るのは止めて往路に戻る。15時のバスに乗って富士見駅に向かう。
(松島記)



山頂は平日にもかかわらず大賑わい



すすらんの群落

7月の山行 甘利山

期 日：2018年7月11日（水）

参加者：佐藤登代子、植村澄江、染谷美佐子、松島岳生、田中恵美子、里見清子（係り）
石光久仁子（係り）

日帰り山行ということもあって係りの里見さんと相談のうえ、山梨百名山の一山である「甘利山」を計画する。あわよくば千頭星山までと欲をかいた計画でしたが、6月であればレンゲツツジ、7月は花も終わっている。2000M弱の高原というイメージで出かける。

韮崎駅で集合9:30分ごろ地元の9人乗りタクシーを使って甘利山の山腹を巻きながら高度を上げていく、さわら池、神社、旧登山道の標識、等を横目で見ながら広河原の駐車場迄行く。ツツジ苑の脇を右回りで出発一歩踏み出すも高原をイメージした割には連日の猛暑に樹林の中でもじっとりとした汗がまとわりつく。おまけに雷注意報迄出ている。

山ツツジが終わって高山植物もめっきり影を落としている。やっと見つけた1輪のキンバイソウ、ウツボグサ、フウロウが・・・柵の向こう側に咲いているがなんとなく寂しい。

甘利山からいったん樹林帯を下るホットするが按分から奥甘利山迄なんと急登が始まり、猛暑と熱風で参加者の顔も真っ赤である。休み休み、たどり着いた奥甘利山で早めの昼食をとり今日はこれまでと判断し東屋経由で駐車場に戻り猛暑の甘利山は終了。いつか千頭星山まで行って南アルプスの前衛の山を眺めてみたい。

余談、タクシーを待ちながらツツジ苑で休息、甘利山全体の再生、保護活動が続いているボランティアの方々から山名の謂れ、甘利氏の歴史、南アルプス・ユネスコエコパークの存在の話を聞き有意義なひと時を過ごす。
(石光記)



甘利山山頂 暑い～



奥甘利山山頂 暑い～暑い～

8 月の山行 玉原高原・迦葉山

期 日：2018 年 8 月 8 日（水）～9 日（木）

参加者：佐藤登代子、清水千枝子、植村澄江、須藤節子、佐野加代子、小泉義彦（係り）

コース：上越線後閑駅―迦葉山―みねの湯「つきよの館」泊―沼田駅―玉原高原―沼田駅

台風 13 号の進路が一時は内陸に向かうとのことで、心配したが太平洋側に転じほっとする。全員大宮駅の電車の中で集合し、高崎駅で乗り換えて上越線の後閑駅に 12 時 55 分に到着。改札前の道路に今夜泊まる「つきよの館」のマイクロバスが待っていて龍華院弥勒寺迦葉山に向かう。約 30 分で到着、階段を上がり中峯堂にお参りする。堂内の正面入口には、巨大な 2 つのお面が（顔の丈 6.5m と 5.5m、鼻の高さ 2.8m と 2.7m）が飾られ、更に沢山のお天狗さまが祭られていた。いずれも祈願のために寄贈されたもので堂内が天狗で満ち溢れていた。境内を一周して待っている車まで戻った。時間があれば奥の院の和尚台には鎖での登る座禅石まで行きたかったが次の機会にした。3 時前には関越道の脇にあるみねの湯「つきよの館」に到着。早速乾いた喉をビールで潤す。この宿は高台にあるので見晴らしが大変よい。三峰山にかかる雲がさまざまに変化する、田圃の向こうに上越新幹線

の走る様子も見える。お風呂も広く展望がよい。6時からの夕食も川魚、山菜など満足できるものであった。宿の人の接し方もよく、皆さん、この宿が大変気に入りました利用したいとのことであった。

9日は沼田駅まで送ってもらい8時35分のラベンダーパーク直行バスに乗る。園内に入ると緩やかな斜面がずーっと上に伸びていて、彩の丘と呼ばれるお花畑にはラベンダーのほか色とりどりの花々が咲いている。緩やかな遊歩道を約20分上がると標高1300m地点に到着、レストハウスがある。ここまでリフトがあり全長700m、約10分の空中散歩ができるようだ。メンバーの一人が利用した。途中にヤナギラン、ヨツバヒヨドリ、葉だけのクリンソウが楽しませてくれた。ここから上には本格的なラベンダー畑が展開、標高1350mの大展望台に上がる。いま歩いてきた一面紫色に染まったラベンダー畑が一望できる絶好のビューポイントだ。皆さん、満足して下山、14時40分のバスで沼田駅に向かった。

(小泉 記)



迦葉山・弥勒寺（天狗寺）



玉原ラベンダーパーク

9月の山行 子の権現

期 日：2018年8月8日（水）～9日（木）

参加者：石光久仁子、植村澄江、佐藤登代子、佐野加代子、染谷美佐子（係り）、深田美好、
深田伸代（ゲスト）

足腰のご利益があるという奥武蔵の子ノ権現を目指す。3年連続で雨天中止となった計画で私が9月の係りになったとき、子ノ権現から竹寺の計画をそのまま引き継いでみた。

西吾野駅を10時過ぎに出発する。国道を300mほど進み小床橋を渡り、小床集落に行く。秋海棠、曼殊沙華、水引草など秋の花が目につく。静之神社を過ぎると山道となる。杉林をジグザグに登ると天寺十二丁目に着く。しばらく歩くとヒノキの斜面を登ると車道に出ると子ノ権現も近い。ちょうど12時に子ノ権現に着いて昼食する。平日なので人は少ない

8月中旬に松島さん、石光さんと下見山行をしたが、猛暑で体力を消耗してしまい、特に小殿バス停までが石がごろごろしていて歩きにくかった。さらに飯能へのバスが1時間に1本程度のこともあり、今回は吾野駅に下山することに変更する。

急な山道を下ると、すぐに林道になってしまった。うどんが名物だという浅見茶屋は本日が定休日となっていた。滝不動を通過し単調な道を、吾野駅に向かう。西武線の線路が見えてとこで時間を確認するとぎりぎり、間に合うかな？ま、次の電車にしましょう。

山行には参加できなかった松島さんと飯能で合流して、近く中華店で7月に亡くなった内田敏子さんに献杯して、しばし思い出話で時間をすごした。



（染谷 記）

30年度・会費納入のお願い

新たな会計年度になります。2018年4月～2019年3月分の年会費1,000円を下記「ゆうちょ銀行」口座にお振込をお願いします。すでにご納入いただいた方はご容赦ください。不明な点は佐藤代表及び会計担当の石光迄お問合せください。

ゆうちょ銀行

店名：008（読み ゼロゼロハチ） 店番：008 普通預金

口座番号：2125817 口座名：二火会

今年度会費納入状況（個別）

※2018年4月～2019年3月

納入済

未納